

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	チームSDGs稲毛
587		
1. 他団体との連携の希望	連携したい	
2. 連携を希望する相手		
a. 町内自治会・地域運営員会 行政 企業 他の市民活動団体 学校		
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）		
スキルを持った人材を派遣できる。 〔スキルの内容：ワークショップや意見交換会のファシリテーター、司会、英語通訳〕		
知識やノウハウを提供できる。 〔知識やノウハウの内容：SDGs、環境問題、有機農業、パートナーシップ（日英）〕		
その他〔企画の相談・コンサルティング対応〕		
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか		
応相談		
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定		
連携相手（団体等の名称）	連携内容	
有機の里づくり千葉県団体連絡会	フォーラム、セミナーへの協力	
おそうじひとしずく	海岸清掃活動の共催	
町内自治会	未実施ですが SDGs 勉強会を町内会の部会で開催できたらと相談中です。	
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容		
連携相手	連携して行いたい取組の内容	
町内自治会	SDG に関する勉強会を行い、防災や環境保全などについて取り組む重要性の理解促進と、活動する人を増やすきっかけにしたいと思っています。	
地域の店舗	まちライブラリーを開催しているので、そのことについて広報協力（チラシを置くなど）していただきたい。	
7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。		
地域の諸団体と連携促進するのは意義があると考えております。使用言語や年代、考え方の違いから、話や意見が噛み合わないと思われがちかもしれませんが、地域の持続性を考えるとますます連携が重要だと思えます。担い手の高齢化も課題と思うので地域の NPO と地縁組織の協力体制は今後重要になってくると思えます。		